

c/d.
(マルチケア)

特発性膀胱炎、
ストルバイト尿石症、
シュウ酸カルシウム尿石症

- ストルバイトやシュウ酸カルシウムの結晶、尿石を形成する要因となるマグネシウム、リン、カルシウムを調整
- オメガ-3脂肪酸の量を調節し、栄養学的に膀胱炎を管理
- 抗酸化作用があるビタミンE、ベータカロテンを配合し、健康維持に配慮
- 成猫の健康維持にも適応

s/d. ストルバイト尿石症

- マグネシウムとリンを制限し、尿のpHを酸性に傾けることでストルバイト尿石症や結晶尿症を栄養学的に管理

w/d. 肥満傾向の猫の
ストルバイト尿石症

- 肥満傾向の猫のストルバイト結晶や尿石が形成されにくくするためにマグネシウムを制限
- 糖尿病、大腸炎、下痢・便秘、肥満防止、高脂血症（ドライ製品）の管理にも適応
- 肥満傾向の成猫の健康維持にも適応

食事管理のポイント

- 尿路の炎症に配慮したフードを与えましょう
高レベルのオメガ-3脂肪酸と抗酸化成分は炎症を管理することに役立ちます。
- 尿石成分のレベルを考慮したフードを与えましょう
ストルバイト尿石、シュウ酸カルシウム尿石を考慮して、マグネシウム、カルシウム、リン、シュウ酸のレベルを適切に調整した食事が必要です。
- 尿のpHを考慮したフードを与えましょう
尿を正常範囲（pH6.2～6.4）にすることで、ストルバイトとシュウ酸カルシウムの結晶が形成されにくくなります。



ヒルズのプリSCRIPTION・ダイエット
猫下部尿路疾患 (FLUTD) 管理用フード

c/d. s/d. w/d.

※獣医師の指示にしたがって与えてください。

c/d. (マルチケア)

特発性膀胱炎、
ストルバイト尿石症、
シュウ酸カルシウム尿石症

〈猫用〉 ドライ 500g, 2kg, 4kg
缶詰 156g
パウチ 85g



s/d.
ストルバイト尿石症

〈猫用〉 ドライ 500g, 2kg, 4kg
缶詰 156g



w/d.
肥満傾向の猫の
ストルバイト尿石症

〈猫用〉 ドライ 500g, 2kg, 4kg
缶詰 156g



病院名



ヒルズのプリSCRIPTION・ダイエット
米産 ドライ製品は、すべて
自然派成分で酸化防止しています。



販売元
日本ヒルズ・コルゲート株式会社
〒135-0016 東京都江東区東陽3-7-13



販売総代理店
大日本住友製薬株式会社
〒553-0001 大阪市福島区海老江1-5-51

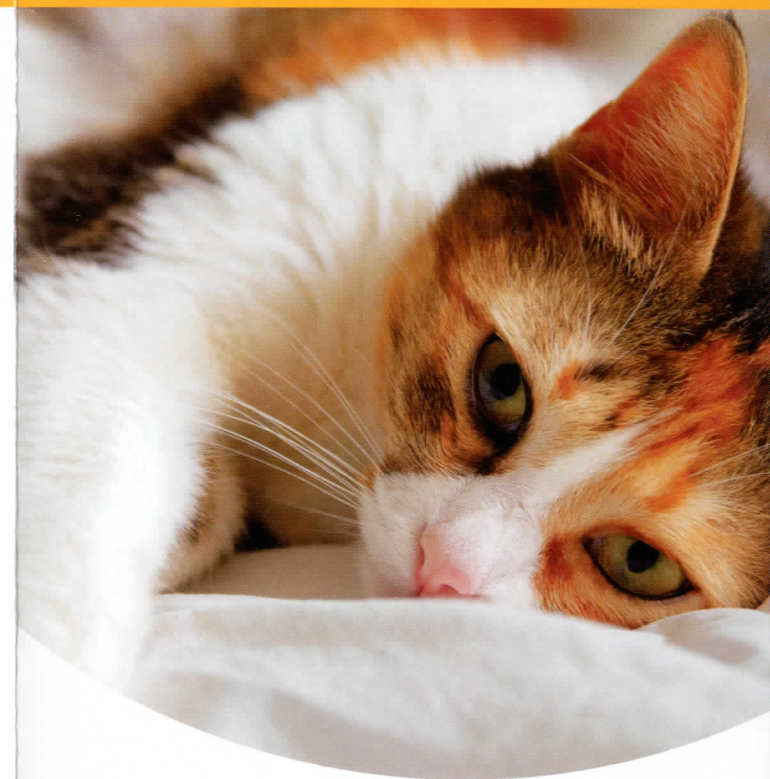
愛犬愛猫に関する情報 ヒルズホームページ <http://www.hills.co.jp>

※製品のデザイン・重量などは変更することがあります。

2009.04



猫下部尿路疾患
(FLUTD) のおはなし



猫下部尿路疾患 (FLUTD) とは

猫下部尿路疾患 (FLUTD) とは主に下部尿路（膀胱から尿道）に起こる、いろいろな原因と症状を含む病気の総称です。原因のわからない特発性の膀胱炎や不適切な食事による尿結晶や尿石の形成が猫ではよくみられます。症状が進むと、尿道が詰まって排尿ができず尿毒症となり短期間で死亡することもあり、注意が必要な病気です。



※定期的に獣医師の診察をお受けください。

FLUTDの原因

- 特発性膀胱炎、尿石（ストルバイト尿石、シュウ酸カルシウム尿石）、尿道栓子によって発症することがほとんどです。

■ 食事と尿pH

食事中に尿石の構成成分であるマグネシウム、リン、カルシウムなどが過剰に含まれていると、尿中に結晶や結石が形成される機会が増加します。また、食事によっては尿pHのバランスを崩し、リスクを高めることもあります。

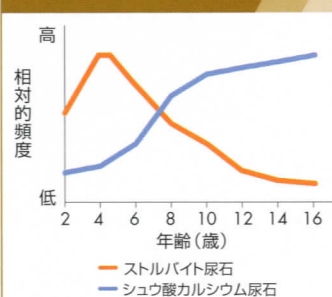
■ 行動

室内飼いや運動量が制限された環境で飼われている猫は、水分摂取量が不足しがちになり、尿量が少なくなります。また、トイレが汚れていると猫が排尿をがまんすることがあり、膀胱に尿が溜まる時間が長くなることから、FLUTDの発生を促進させることがあります。

■ 性別／年齢

尿路閉塞は若い猫や去勢されたオスによくみられます。また、ストルバイトは7歳以下で、シュウ酸カルシウムは7歳以上で発生頻度が高い傾向があります。

尿石の頻度と発生年齢

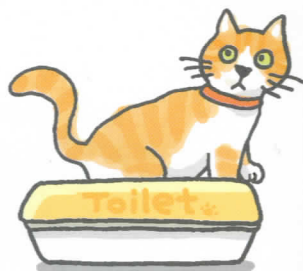


■ 体型 (ボディ・コンディション)

体重過剰は猫のFLUTDを発生させやすくするといわれています。

どうして、猫にはFLUTDが多いの？

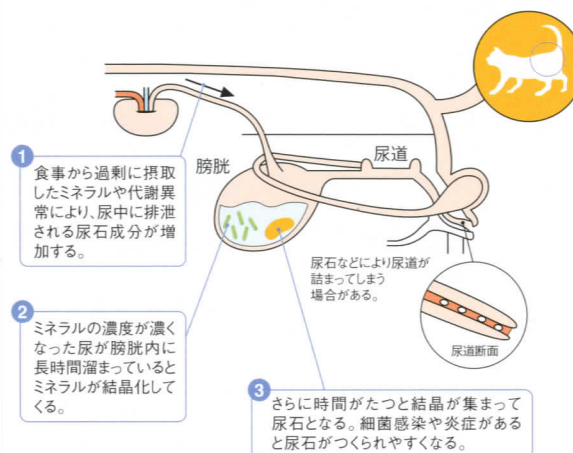
猫は、砂漠地域出身の動物なので、水分の喪失を少なくするため、少量で濃い尿を排泄するような体の仕組みになっていて犬や他の動物に比べて下部尿路にさまざまな症状が出やすいのです。



尿石ができるまで

FLUTDの原因の多くに尿結晶や尿石が関係しています。

結晶から尿石ができるまで



主な尿石の種類

尿結晶や尿石には数種類ありますが、猫で多いのはストルバイトとシュウ酸カルシウムです。

ストルバイト

結晶



尿石



シュウ酸カルシウム

結晶



尿石



！ こんな症状が出たら要注意

日ごろから愛猫の行動をチェックして、以下のような症状がみつかったら、早めに動物病院にご相談ください。

- ☐ 尿の色がピンク～赤くなり、血が混ざっていることがある
- ☐ トイレでじっとしてうずくまっている
- ☐ カンでいるが尿が出ない
- ☐ トイレに行く回数が増える
- ☐ トイレでないとところで排尿をしてしまう
- ☐ 行動が落ち着かない
- ☐ 食欲がない／元気がない



🏠 ホームケア

- 獣医師の指示した食事のみを与えましょう
尿石症の管理には、食事管理がとても重要です。尿石症の管理用に作られたフードを与え、おやつや食事の残りなどは与えないようにしましょう。
- 新鮮な水を十分に与えましょう
水分を多くすると尿量が増え、尿が薄められ排尿の回数が増加します。缶詰のフードは無理することなく水分摂取の増加に役立ちます。
- 適切な運動をさせましょう
運動量が少ないと、水分摂取量が少なくなりがちです。
- トイレを清潔にしておきましょう
トイレが汚れていると、排尿をがまんすることがあり、膀胱に尿が溜まる時間が長くなり、尿石のできるリスクが高くなります。